

本を読んで 心をポカポカに！



えらいえらい
ますだ ゆうこ 文
竹内通雅 絵
(そうえん社)
靴はえらい。カバはえらい。傘はえらい。何だって、かんだって、えらいえらい！声に出して読むとすごく楽しいよ。

おふろやさん
西村繁男 作
(福音館書店)
ある日のお風呂屋さんに集う人たち。それぞれの生活、それぞれの一日を生き生きと感じ取ることができます。お風呂屋さんに行きたくなる絵本。

るんたのおねつ
のぶみ 作・絵
(主婦の友社)
お熱が出てしまったるんた。頭くらから、汗びっしょり。お薬を飲むのは、ちょっぴり不安…。さあ、初めてのお薬は、うまくだめくめでしょか。

**なんでバイバイ
するとやか？
友だちほしだけなのに**
ごとうひろし 文
なすまさひこ 絵
(石風社)
同じ場面・同じ状況を、地域の学校へ通うさんじ君と、養護学校へ通うてつお君のそれぞれの立場から考えたこと、感じたことを描く二つのお話の絵本。

**千両花嫁
とびきり屋見立て帖**
山本兼一 著
(文藝春秋)
時は幕末。「見立て」と「度胸」で、動乱の世を渡る夫婦の成長を軸に、京商人の心意気を描く連作小説。

田村はまだか
朝倉かすみ 著
(光文社)
深夜のバー。小学校クラス会の三次会。40歳になる男女5人が、大雪で列車が遅れ、クラス会に間に合わなかった「田村」を待つ。待ちながらそれぞれの脳裏に浮かぶものは…。

新年がスタートしました。何か新しいことを始めてみたくなる、そんな気持ちになります。さて、寒さはまだまだ続きますが、お気に入りの本を読んで心をポカポカと温めてみませんか。いつでもたくさん本たちが皆さんをお待ちしています。ご家族連れで図書館に、ぜひ、お越しください。

■1月のおはなしひろば情報

【時】14日と28日の水曜日
14時30分～15時

【所】中央公民館3階 和室

【時】22日(木) 16時～16時30分

【所】図書館樋脇分館

【時】14日と28日の水曜日
16時～16時30分

【所】図書館祁答院分館

【入場料】各会場無料

一緒に楽しく過ごしましょう。皆さんの参加をお待ちしています。

各図書館にお越しください。

— 問合せ先 —	
中央図書館	☎ 0996(22)3542
図書館樋脇分館	☎ 0996(38)0009
図書館入来分館	☎ 0996(44)3111
図書館東郷分館	☎ 0996(42)0053
図書館祁答院分館	☎ 0996(55)1111
図書館里分館	☎ 09969(3)2958
図書館上飯分館	☎ 09969(2)0001
図書館下飯分館	☎ 09969(7)0390
図書館鹿島分館	☎ 09969(4)2211



中学校教諭による社会の授業



全員集合



生き方科「里の魚から学ぼう」



鹿児島純心女子大生との英語の授業

里小学校

体に汗いっぱい 頭に本いっぱい 心に花いっぱい

創立137年「強い体にやさしい心
めあてをもって 最後までがんばる」

甌島列島の北端に位置し、トンボロ(陸繋砂州)と呼ばれる特殊な地形の上に建つ里小学校は、本年度創立137年目を迎えました。現在、52人(男子31人、女子21人)の児童が学んでいます。

「ふる里を愛し、豊かな人間性や社会性を備え、たくましく、生きる力をもった子どもの育成」を教育目標とし、学校・保護者・地域が一体となつて教育活動に取り組んでいます。

本校は、小中一貫教育モデル校として、3年前から研究を進めてきました。

新教科「生き方科(平成21年度からコミュニケーション科)」の取り組みでは、指導の重点として、「郷土愛」・「自律心」・「自己実現」の三つの領域を設定し、保護者や地域の協力をもらいながら、体験活動を多く取り入れ、「里を知り、里を愛し、主体的に自

分の人生を切り開いていくことのできる子どもの育成」に努めてきました。

また、英語活動にも力を入れ、中学校教諭とのTT授業や鹿児島純心女子大学の准教授、学生による授業なども実施しています。

さらに、始業前にはボランティア活動(草取り、水掛け、掃除など)や体力アップデー(月・水曜日)を設定し、固定施設を使ったサーキットトレーニングも行っています。

学力向上に関しては、小中学校連携による交流授業(国語・社会・理科・音楽・体育など)の実施や一部教科担任制の導入、放課後の個別(補充)指導を行っています。

また、本年度から3・4年が複式学級になったための時間割の工夫による複式授業の解消などにも全職員で工夫・改善しながら取り組んでいます。

(※1) TT=チームティーチング:複数の教師が協力して授業を行う指導方法



VOICE
すずき きよみ 校長
里小学校 鈴木 清美 校長

行き交う人々があいさつを交わし合い、さわやかで温かな風が流れるトンボロの里。進んで協力し、子どもたちを温かく見守ってくださる保護者や地域の方々。異年齢活動を通してルールを学び、上級生が下級生の世話をし、下級生は上級生を兄さん、姉さんと慕う子どもたちの、明るく素直な瞳が自慢の学校です。

